

令和6年6月14日

KFA 第36回鹿児島県 U-15サッカー選手権大会における熱中症対策及び落雷対策について

1 目的

本大会に出場する選手及び関係者の命を守り安全なプレー環境を整えることで熱中症の防止や落雷からの危険を回避することを目的としている。

2 大会開催期間

8月26日（月）～9月1日（日） 7日間開催

※1日に2試合実施しないため

3 試合時間

第1試合 9時30分から10時40分

第2試合 10時45分から11時55分

すべての試合でクーリングブレイク（3分間）を前後半に1回ずつ実施する。

（雨天時は除く）

すべての試合でハーフタイムは10分間にする。（前半終了の笛から後半開始の笛まで）

4 大会会場

1日目 26コート、2日目 14コート（県内各地で実施）

熱中症対策…近くにクーラーの設備がある会場

落雷対策…大会関係者が避難ができる施設完備の会場、1つの会場に集まる人数の制限

5 大会運営

(1) 大会1日目、2日目

例 会場責任チーム（Dチーム）

第1試合目

Aチーム - Bチーム 審判（Cチーム・Dチーム・高校生2人）

第2試合目

Cチーム - Dチーム 審判（Aチーム・Bチーム・高校生2人）

ア 上記のように第1試合目の審判は、第2試合目のチームが担当する。また、第2試合の審判は、第1試合目のチームが担当する。

イ 各チーム必ず1名以上は、審判員を帯同させてください。（原則有資格者）

4月の総会では、審判ができないチームは、拠出金5,000円ということでしたが、熱中症対策の関係で、すべてのチームで審判と運営をしないといけないことになり変更になりました。（各地区責任者が参加した大会運営緊急協議会で確認）

ウ 会場責任チームは、会場準備等がある関係で、2試合目の時間に設定する。

エ 大会役員は事前に救命講習会を受講する。

(2) 役員協力

連続7日間の大会になり、同じスタッフですべての期間運営することが難しいことが予想されます。中体連とクラブのスタッフで協力して大会を運営していきたいと思えます。御理解、御協力をよろしくお願ひします。

(3) 落雷時の対応

JFAから出されている「サッカー活動中における落雷事故防止対策について」に則って対応する。

気象情報提供先より周辺の落雷・雷注意報を確認し、雷活動（雷鳴、雷光）が止んでから20～30分以上経過し、活動を再開すること。

ア 試合が開始していたが、落雷が続き天候の回復が見込めない場合

選手、関係者の安全面、健康面と会場使用の関係から14時までに大会本部役員と検討し判断をする。

（熱中症対策でも同じ対応をする）

試合を停止した時点のスコアを結果とする。

停止した時点で同点であった場合は、監督または代表者が本部役員立会いのもとで抽選を行い結果とする。

イ 試合を開始することができていない場合も、監督または代表者が本部役員立会いのもとで抽選を行い結果とする。

ウ 全ての試合会場で試合が成立しない場合は、大会中止を含めて大会本部役員で検討する。

気象庁の落雷情報を二次元コードから収集し、大会本部と連携し判断する。



(一社) 鹿児島県サッカー協会
3 種 委 員 会